

国語科学習指導案

三原市立糸崎小学校
指導者 今井 由美

- 1 日時 10月 3日(木) 第5校時
2 学年 第4学年 男子19名 女子17名
3 単元名 働く人々を写真や文章で伝えよう! ~仕事リーフレットを作ろう~
教材名 「アップとルーズで伝える」

【つきたい力】

- 目的に応じて中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読む力。
- 段落相互の関係に気をつけながら、収集した資料をもとに報告する文章を書く力。



【単元を貫く言語活動】(書くこと)

- 収集した資料を効果的に使い、リーフレットに表す言語活動。

4 単元について

- 本単元は、教材を写真と文章の対応した部分に注意させて読み取り、それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているのかをつかませる。そして、学んだことを活用して『仕事リーフレット』を作ることをねらいとしている。

本教材「アップとルーズで伝える」は、テレビや新聞などを通して私たちに届けられる映像や写真が目的や意図によって取捨選択されたものであることを、「アップ」と「ルーズ」という視点を通して気づかせてくれる。しかも、形式段落と対応した分かりやすい写真を資料として載せて、「アップ」と「ルーズ」を対比させながら読み進めることができるので、児童にとっては内容を理解しやすい教材だと考える。

「仕事リーフレットを作ろう!」では、社会科の学習と関連づけて、社会見学で調べた仕事のリーフレットを本教材で学習した段落構成と表現を使って作成させる。そのことで、児童は集めた資料を再構成して、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書くことができると考える。

- 本学級の児童は、1学期に「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」という二つの説明文教材を使って学習していった。文章全体の構成や段落相互の関係を読み取ることは、おおむねできていた。しかし、筆者の主張を読み取り、それに対する自分の考えをまとめることは、約4割の児童が難しいと感じていた。これは、中心となる語や文をとらえて、要点を押さえる力が弱いことが要因であると考えられる。また、段落のまとまりを意識して読んだり書いたりする経験も不十分である。日常的な読書活動や話を聞く場面等で、内容の要点は何かを考えながら読んだり聞いたりすることを意識づけていく。そして、ミニ日記や作文を書く時には、段落ごとのまとまりに気をつけて書いていけるように指導する。

- 指導にあたっては、『見通す』段階において、教師の作成したリーフレットを提示し、ゴールを示すと同時に、テーマへの意識付けと学習活動の見通しを持たせ、学習に対する意欲を高めたい。

『習得する』段階においては、筆者の説明のしかたの工夫を考えるために、写真と文章を対応させて読みとらせたり、対比的な段落関係を見つけさせたりする活動をさせていく。そして、段落相互の関係に注意して読ませながら、文章全体を三つのまとまりに分けて構成をとらえさせていきたい。

『活用する』段階においては、まず、教材から学んだ「写真と文章の対応」「対比的な段落構成」を使いながら、序論(問い)ー本論(答え)ー結論(まとめ)で構成図を書かせたい。紹介する仕事は、社会科「安全なくらしを守る」の学習での消防署の見学や社会見学で行くアオハタジャム工場、山陽乳業での学習と関連付けながら、各自で紹介したい仕事とその伝えたい内容を決めさせる。次に、自分達が社会見学で撮影した写真の中から、伝えたい事柄が効果的になるよう「アップ」と「ルーズ」の2枚の写真を決めさせたい。取材して集めたメモを付箋紙などを活用して再構成させ、

写真を効果的に使いながら文章にまとめさせさせたい。そして、最後に、作成した構成図を元に、写真と文章が対応しているか、敬体や常体が混在していないかなどを推敲し、読み手を意識してリーフレットを完成させたい。これらの過程を通して、収集した資料をもとに説明的文章を書く力を伸ばしたい。

最後に『ふり返る』段階においては、作成したリーフレットを紹介し合い、「問いと答え、まとめが繋がっているか」「写真と文章が対応しているか」などの視点を明確にして自己評価や他者評価を行い、学習内容を振り返らせ、さらに意欲を高めたい。

5 単元の目標

【関心・意欲・態度】

- ・テーマを決め、進んで資料を集めたり、分かりやすくまとめて書いたりしようとしている。

【書くこと】 (ア) (イ)

- ・書くことの内容を明確にし、まとまりごとに事例を挙げたり、写真を使ったりしながら、段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。

【読むこと】 (イ)

- ・文章全体の構成や段落相互の関係、写真と文章との対応関係を考えながら読むことができる。

【言語事項】 (エ)

- ・接続語が文と文のつながりに果たす役割を理解している。

6 単元の評価規準

関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
テーマを決め、進んで資料を集めたり、分かりやすくまとめて書いたりしようとしている。	書こうとする内容を明確にし、写真と文章を対応させながら、(アップの視点、ルーズの視点)、段落相互の関係に注意して文章を書いている。	写真と文章の対応関係(アップとルーズの視点から)や段落相互の関係を考えながら読み取っている。	典型的な接続表現の意味を理解している。

『児童の作品を評価する際の評価規準』

		観 点
構成 ◎ ・ 表現 ☆	B 規 準	◎「話題提示(問い)ー説明(答え)ーまとめ」の文章構成で書いている。 ◎「アップ」と「ルーズ」の写真を用い、それらと対応させて文章を書いている。 ◎「このように」という表現を使って、まとめを書いている。 ◎まとめに自分の考えを入れている。 ☆「～でしょう。」と問いかけをし、話題提示をしている。
	A 規 準	・写真からだけではわからない情報を入れたり、具体的な数値を入れ、よりわかりやすくしている。

7 単元構成と評価の計画（14時間）（本時4/14）

次	学習活動	評価	
		評価規準	
一次 (見通す) ①	<p>働く人々を写真や文章で伝えよう！ ～仕事リーフレット作り～</p> <p>だれに お家の人に なんのために 消防署・アオハタジャム工場・山陽乳業の仕事や働く人々の様子を知らしてもらうために。</p> <p>① 学習の見通しをもつ。(教師の書いた「仕事リーフレット」を読み、学習計画を立てる。)</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>①教師の書いた文章を読んだ、学習に関心を持っている。</p>	<p>行動観察 発言 ノート</p>
二次 (習得する) ⑥	<p>「アップとルーズで伝える」から学ぼう</p> <p>② 全文を読み、書かれている内容や説明の特徴について気づきを出し合う。</p> <p>③ 1～3段落までの写真と文章の対応関係を読み取り、段落相互のつながりをとらえる。</p> <p>④ 4～6段落を読み、「アップ」と「ルーズ」の伝えられること・伝えられないことや、第6段落までの段落相互の関係をとらえる。【本時】</p> <p>⑤ 7・8段落の内容を読み取りながら、段落の役割を考える。</p> <p>⑥⑦ 全文を読み返し、段落の内容を短くまとめ、文章構成図に整理する。</p>	<p>【読むこと】</p> <p>②アップとルーズの意味や教材文の大体の内容を読み取っている。</p> <p>③1～3段落の段落関係を読み取っている。</p> <p>④写真と文章の対応や「アップ」と「ルーズ」の対比を考えながら、段落相互の関係を読み取っている。</p> <p>⑤7・8段落(結論)の関係と共に8段落と他の段落との関係をとらえている。</p> <p>【言語事項】</p> <p>⑥⑦文と文との意味のつながりに果たす指示語や接続語の役割を理解している。</p>	<p>発言 ノート ワークシート</p>
三次 (活用する) ⑥	<p>地域で働く人々を写真や文章で伝えよう！ ～仕事リーフレットを作ろう～</p> <p>⑧紹介したい仕事を決める。</p> <p>⑨情報を集める。</p> <p>⑩ } 集めた情報から載せる内容、写真や資料を選び、二次で学習した説明の工夫を生かして</p> <p>⑬ } リフレットを作る。(下書き → 清書)</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>⑧進んで自分が伝えたいテーマを見つけ、情報を集めている。</p> <p>【書くこと】</p> <p>⑨分かったことをメモに取り、整理している。</p> <p>⑩～⑬内容のまとまりごとに段落に分けて書いたり写真と対応させて書いたりしている。</p>	<p>行動観察 メモ ワークシート</p>
四次 (振り返る) ①	<p>「学習を振り返ろう」</p> <p>⑭作成したリーフレットを紹介し合う。</p>	<p>⑭書いたものを交流し合い、表現の工夫に着目して助言し合っている。</p>	<p>行動観察 作品</p>

8 ふり返りカード（本時で期待する子どもの姿）

1	地域で働く人々を写真や文章で伝えよう！ ～仕事リーフレットを作ろう～の学習計画を立てることができました。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「アップ」と「ルーズ」という2つのとり方のちがいを比べていることが分かりました。 ・今まで習った説明文と同じように問いと答えがあることがわかりました。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・段落関係は、①・②を③でまとめていること分かりました。 ・説明の工夫…写真と文章を対応させて説明しています。「どんなちがいがあるのでしょうか。」と問いかけています。～感じが伝わります。～分かります。～を～とといいます。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・写真と文章や接続詞により「アップ」と「ルーズ」の伝えられること・伝えられないことについて分かりました。 ・説明の工夫…4段落と5段落を対比させて書くことにより、ちがいははっきりさせています。3段落の問いの答えが4段落と5段落に書いてあります。そのまとめが6段落に書いてあります。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・「アップ」「ルーズ」について筆者の伝えたいことが分かりました。 ・説明の工夫…8段落は、6,7段落のまとめであると同時に全体のまとめ（筆者の伝えたいこと）であることが分かりました。
6・7	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成図にまとめることにより、段落どうしのつながりを考えることができました。 ・リーフレット作りに取り入れる説明の工夫についてまとめることができました。 ①写真と文章の対応 ②問いかけと答え ③「このように」を使ったまとめ ④「～のです。」で主張を強める。
8	リーフレット作りの計画を立て、紹介したい仕事を決めることができました。
9	取材メモを作成することができました。（質問内容や撮りたい写真の内容）
10	紹介したいことをはっきりさせて、文章構成図を書くことができました。
11・12	写真や取材した資料を使って、リーフレットの下書きを作ることができました。
13	下書きをもとに、リーフレットを仕上げることができました。
14	友達の作品を読んだり聞いたりして、よい点や工夫している点を見つけて伝えることができました。

9 本時の目標

- 写真と文章の対応や、逆接の接続詞に着目して、「アップ」と「ルーズ」の伝えられることと伝えられないことを読み取らせ、6段落までの段落相互の関係をつかむことができる。

10 準備物

教科書の写真（アップとルーズ）、短冊

11 本時の展開

学習活動・予想される児童の反応 (★主発問☆補助発問)	○指導上の留意点・◎評価規準(評価方法)
<p>1 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「アップ」と「ルーズ」では、どんなちがいがああるのかを読み取り、4・5・6段落の関係をまとめよう。 </div>	<p>○前時までの振り返りを行い、本時の読みの視点を持たせる。</p> <p>○3段落が問いかけの文章で終わっていることから、4段落からは、その答えが書いてあることに気づかせる。</p> <p>○1・2段落も上の写真と対応した文章が書いてあったことから、4・5・6段落も上の写真と対応した文章が書かれているだろうという予想を持たせる。</p> <p>○アップとルーズのちがいを見つけながら音読させる。</p>
<p>2 アップとルーズのちがいを読み取る。 ★アップとルーズでは、どんなちがいがあるのでしよう。</p> <p>〈「アップ」で分かること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アップでとると細かい部分の様子がよく分かります。 <p>〈「アップ」で分からないこと〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走っている選手以外の、うつされていない多くの部分のことは、アップでは分かりません。 <p>〈「ルーズ」で分かること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーズでとると広いはんいの様子がよく分かります。 <p>〈「ルーズ」で分からないこと〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各選手の顔つきや視線、それらから感じられる気持ちまでは、なかなか分かりません。 <p>〈写真Cと対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールを決めた選手が両手を広げて走っています。 ・ユニホームは風をはらみ、口を大きく開けて、全身で喜びを表しながら走る選手の様子がよく伝わります。 <p>〈写真Dと対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝ったチームのおうえん席です。 ・あちこちでふられる旗、たれまく、立ち上がっている観客。 ・それに向かって手をあげる選手たち。 ・選手とおうえんした人たちが一体となって、勝利を喜び合っています。 	<p>○アップとルーズのちがいについて書かれているところに線を引かせておく。 【家庭学習を生かす】</p> <p>○アップとルーズのちがいについて、出された意見を板書で構造的に整理する。</p> <p>○文末の「～分かります」「分かりません」や「しかし」「でも」に着目させながら、アップとルーズで分かること・分からないことを見つけさせる。</p> <p>○アップで分かる「細かい部分の様子」とはCの写真でいうとどんな様子か、ルーズで分かる「広いはんいの様子」とはDの写真ではどんな様子かを写真と本文とを対応させながら見つけさせる。</p> <p>○4段落と5段落を同じ書き方で、対比させて書くことで、ちがいはっきりさせていることに気づかせる。</p>

3 写真の使い方や説明の仕方の工夫を見つける

☆4・5段落の説明のしかたで似ている所はどこですか。

- ・初めに上の写真の様子について説明しています。
- ・分かること→分からないことの順に説明しています。
- ・分かることを書いた後、「しかし」「でも」という逆の意味を表すつなぎ言葉を使って、その後分からないことを書いています。

【しっかり教える】

・気づかせるポイントとして、写真の使い方・説明の順序・段落関係・文末表現・つなぎ言葉をあげ、既習内容から気づかせていく。

【じっくり考える】

・4・5段落を読み比べさせ、写真の使い方や説明のしかたに共通点があることに気づかせる。

4 まとめをする。

☆4・5・6段落の写真の使い方や説明のしかたの工夫で気づいたことをノートに書きましょう。(3つ以上)

○自分の気づきをノートに書き、ペアトークを行わせる。 【言語活動】

【期待する言語表現】

- ・4・5段落は、写真と文章を対応させて書いています。
- ・4段落の「アップ」の説明と5段落の「ルーズ」の説明を**対比**させて書いています。そうすることで、ちがいははっきり分かります。
- ・6段落は、「**このように**」という言葉があるので、4段落と5段落の**まとめ**が書いています。

【はっきり表現させる】

・気づいたことを根拠を示しながらはっきり表現させる。

かんガエルカードを考える。

★「アップ」と「ルーズ」のちがいのまとめ

- ・「アップ」の特ちょう
(細かい部分の様子がよく分かります。) **しかし** (うつされていない多くの部分のことは、分かりません。)
- ・「ルーズ」の特ちょう
(広いはんいの様子がよく分かります。) **でも** (各選手の顔つきや視線、それらから感じ取られる気持ちまでは、分かりません。)

★書き方の工夫

- ・4・5段落は、(写真)と文章を対応させて説明しています。
- ・4段落と5段落を(対比)させて書くことにより、ちがいははっきりさせている。
- ・6段落は、4段落と5段落の(まとめ)になっている。

★使ってみよう書き方の工夫

例

- ・アップとルーズの写真を使って説明したい。
- ・写真と対応させた文章を書きたい。
- ・「このように」を使ってまとめを書きたい。

○ふり返りを書く。

◎「アップ」と「ルーズ」の分かることと分からないことを読み取り、4段落と5段落は対比の関係になっていることと、6段落はそれらのまとめになっていることを理解している。(ワークシート・発言)

A写真と文章や接続詞により「アップ」と「ルーズ」の伝えられることと伝えられないことを読み取り、4～6段落までの段落相互の関係をまとめ、使っていきたい表現とその使用目的を明記している。

B写真と文章や接続詞により「アップ」と「ルーズ」の伝えられることと伝えられないことを読み取り、4～6段落までの段落相互の関係をまとめている。

△Bに達しない児童への支援

板書をもとに、写真と文の対応、逆接の接続詞に着目させる。

○次時は、最後まで読み、段落の役割を考えていくことを伝える。

【家庭学習に生かす】

課題

アップとルーズで伝える

中谷 日出

アップとルーズでは、どんなちがいがあのか読み取り、
四・五・六段落の関係をまとめよう。

分かること

分らないこと

アップ 四

アップの写真
(ゴールを決めた選手)

細かい部分の様子
両手を広げて
風をほらみ
口を大きく

しかし

うっさされていない多くの部分

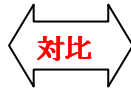
ルーズ 五

ルーズ写真
(勝ったチームお
うえん席)

広い範囲の様子
旗 たれまく 観客
選手たち
選手とおうえん
した人たち

でも

各選手の顔つきや視線、
それから感じられる気持
ち



まどめ
このように

それぞれ伝えられることと伝えられないことがある。

それで ←

目的に応じて切りかえながら

かんがえるカード

★「アップ」の伝えられること伝えられないこと

() () () () () () () () () () () () () () ()

「ルーズ」の伝えられること伝えられないこと

() () () () () () () () () () () () () () ()

★四・五段落は、() () と文章を対応させて説明している。

★四段落と五段落は、() () している。

★六段落は、四段落と五段落の () () になっている。

児童の作品 リーフレット

(一部)



おいしいジャムのひみつ



アヲハタジャム工場ではいろいろな種類のジャムを作っています。3種類のジャムを作っていて、今でもふえつづけています。

では、ジャムをおいしく作り、日本のみんなに食べてもらうためどのような工夫をしているのでしょうか。

この写真は、クリーンルームでビンにジャムをつめてふたをするところです。

クリーンルームは集中ちりょう室と同じくらい空気がきれいなところ。ちりやほこりが通常の部屋の100分の1です。

このように、アヲハタジャム工場では、手さ業で葉のはや入丹を取ったり、ビンにジャムをつめる部屋は、ちりやほこりが通常の部屋の100分の1という、きれいな所でジャムを作っています。ほかにも、たくさん工夫をしながら安全でおいしいジャムを作っているのです。

わたしは、アヲハタジャム工場で作るジャム1つ1つに、たくさんのおまけをかけて作っていることが分かったので、ジャムを食べる時のこさずに食べたいです。